

授業科目名： 授業実践演習	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名： 仲 久徳・齋藤憲子 担当形態： 複数
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	大学が独自に設定する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	なし		
「学位授与の方針」との関係  DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標  【授業のテーマ】 授業コミュニケーションに着目した授業づくり  【到達目標】 (1) 授業づくりの基礎となる授業デザイン、授業運営の方法と技術を理解する。 (2) 授業コミュニケーションを中心とした授業デザインができる。 (3) 授業コミュニケーションを中心とした模擬授業ができる。 (4) 授業コミュニケーションを中心とした学習指導案及び関連教材を作成できる。			
授業の概要  テキストにおいて、授業づくりの基礎となる授業デザイン（授業設計）、授業運営の方法と技術を学び、事前レポートにて指定された資料について実際に授業をデザインし、スクーリングにおいて、授業コミュニケーションに着目した授業について、模擬授業を通して相互に評価・検討しながら、効果的な授業づくりについて学ぶ。主に授業実施経験のない学生を対象とする。			
授業計画  第1回：ガイダンス 第2回：授業デザインの基礎①－授業デザインとは 第3回：授業デザインの基礎②－学習目標・評価 第4回：授業デザインの基礎③－教材研究 第5回：授業デザインの基礎④－学習過程・指導過程 第6回：授業運営の方法と技術①－授業を支える指導技術 第7回：授業運営の方法と技術②－学びを引き出す指導技術 第8回：授業デザイン演習①－教材研究をする 第9回：授業デザイン演習②－授業をデザインする 第10回：授業実践演習①－模擬授業（教師の立場から） 第11回：授業実践演習②－模擬授業（学習者の立場から） 第12回：授業実践演習③－相互評価 第13回：授業実践演習④－学習指導案の作成 第14回：授業研究と授業改善 第15回：まとめ			
スクーリングでの学修  スクーリングでは、第10回～第13回を実施する。			
テキスト  稲垣忠（編著）（2022）『教育の方法と技術 Ver.2（改訂版）IDとICTでつくる主体的・対話的で深い学び』北大路書房 978-4762832123			
参考書・参考資料等  西岡加名恵（編著）（2022）『新しい教育評価入門〔増補版〕：人を育てる評価のために（有斐閣コンパクト）』有斐閣、978-4641174764			
学生に対する評価  スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）			